

婦人と子ども



家庭幼稚園

我國と獨逸其他の西洋諸國と較べて、幼稚園へ子供をやるに就いての考の違ふことの一つは、外國に在つては、普通の幼稚園へ子供を出すのは、大抵中流以下の家庭に多い。少し宜い身分の家庭では、普通の幼稚園へ出さないで、各自家庭に幼稚園を作つて、そこで、幼兒を保育して居る。所で、我國の今日の幼稚園の有様は、どうかといふと、之とは全く反對で、幼稚園へ子供を出すものは、寧ろ中流以上の家庭である。實際からいふと、幼稚園の必要は、寧ろ、中流以下の子弟に、より多いのである所からして、今日の我が國の幼稚園の此風は、幼稚園教育振興の上から見て、多少面白からぬ現象だといふこと

は事實である。

然し、この外國のと日本のとの違は、いろ／＼社會上の事情の違ふ所からして出て來たのであつて、只其顯れて居る丈の所を見て、一概に一方がよいとか悪いとかいふことは、出來まいと思ふ。日本では幼稚園へ出すにも、一圓とか、五十錢とかの保育料は要る、日本の下等社會の人々といへば義務教育の尋常小學へすら之よりも尙僅かの費用を出して、入學させることの出來ないのだから、まして、幼稚園へどうして入園させることが出來よう。同じく下等社會といつても、日本の勞働者と外國の勞働者と、其富の程度が餘程違つて居るのである。

然し、こゝでは、此問題に付きては論じるのではない。外國に多く家庭稚幼園を見る所からして、我國でも、此種類の幼稚園を始めては、どうかと思ふのである。尤も、東京でも、或西洋人の家庭では、之を實行して居たといふことであるが、其方法はこうなのである。

先づ、子供のゐる、五六の家庭が組み合つて一つの幼稚園を起すとする。而して、第一其場所は、其組合の中で、廣い家が在れば、其家と決めても宜しいし、又、今日は甲の家、明日は乙の家といふ風に、順々に一日／＼代へてもよし、或は又、一週間とか十日若くは一月毎に代へて行つてもよからうと思はれる。次には、保母である。吾人の最も希望する所は、其組合のおつ母さん方が代はる／＼出て、一日五時間とか、三時間とか、働くといふことである。といふと、そんな呑氣なことは、吾々の家庭の妻に

はやらせること出来んといはれるかも知れない、勿論、忙がしい商賣人なその家ではとても出来まい。然し、我國の中流以上の家庭では、随分、これよりも、一層香氣に暮らして御出での奥様もあらふと思ふから、僕はそういふ方々に御勧めするのである。といふと又、だつて、教育とか保育とかいふ事は一向知らない者に出来ない仕事じやないかといはれるかも知れないが、夫は譯もないので、若し、其氣さへあれば、其組合のおつ母さんたちが、組み合つて、其道を研究する方法は幾らでもあると思ふ。夫でも尙、いろ／＼の事情のために出来ないといふ事なら、仕方がないから、適當な教育を受けた保姆を雇つても宜しからふ。

先づ、こゝにいふ風に、園舎も出来、保姆も出来た。そこで、組合の子供たちが、今日は誰さんの家、明日は誰さんの家といふ風に集まつて、今日は誰さんのおつ母さんが先生、明日は誰さんのおつ母さんが先生といふ様になつて、そこで面白い、團欒的の幼稚園が出来ようと思ふ。そうなると、普通の幼稚園へ出すよりも、第一、自分等の子供を氣心のよく和れた子供等と一所に置く所からして安心であるし、又、先生といふのが、眞實の母たちだから、各自十分の愛と責任とを以て其任に當る、も一つは、家庭の事情が先生方に十分別つてゐるから、保育に至極都合が宜しいと、又衛生の上からいつても、經濟の上からいつても、殊に都合がよからふと思はれる。此風の幼稚園は、今日の時局に際して、一層面白く行くではあるまいか、今や、我軍は旅順に奉天に、着々大捷を得たと同時に、我が忠勇なる陸海軍將士の、

名譽めいよの戦死せんしを遂とげた人々ひとびとも頗すこぶる少すくなくはない、從したがつて、之等これら名譽めいよの戦死せんし者しやの未亡みぼうじん人々ひとびとたらが、東京市内とうきょうしちないでも随分多ずいぶんおほからう。而そして、此家庭幼稚園このかていゐちゐんは即すなはち、之等これらの人々ひとびとに取りとりて、其忘そのわすれ形見がたみを守まもり育そだつる方法ほうほうからいつても、又其仕事またそのしごとの上うへからいつても至極適切しごくてきせつな事業じぎふではあるまいか

(牧羊)

